

市内に住む外国人市民は約3000人。定住を選ぶ人も増加しています。外国人市民が日本人市民ともいっしょいきいきと暮らせる『多文化共生のまちづくり』を進めるため、その参考となる基本的な方針を策定しました。

●基本理念

すべての人が互いに尊重し、
 多様な文化が息つき、
 ともに支えあうまちづくり

基本理念を実現するため、「多文化共生の意識づくり」「誰もが暮らしやすい環境づくり」「いきいきと輝き、夢と希望が持てる地域社会づくり」を基本方針に定めます。



●基本施策

コミュニケーション支援

日本語や文化・習慣を学べる環境づくりと、わかりやすい情報提供、相談体制の整備を行います。

多文化共生の地域づくり

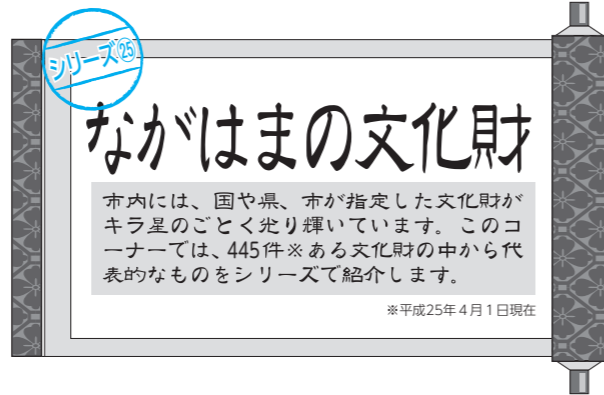
外国人市民の社会参画や市民主体の交流活動支援し、多文化共生の意識づくりを進めます。

生活支援

子育て・教育体制の充実や労働環境の整備を行うほか、保健福祉・防犯防災など、安心して暮らせる環境をつくりまします。

多文化共生の推進体制の整備

国・県・他市町との連携や、行政と住民との協働により、多文化共生を推進する体制を整えます。



重要文化財
宝蔵寺渡廊(低屋根・高屋根)
 (早崎町)

明治34年3月27日指定

宝蔵寺は湖上に浮かぶ竹生島にあって、古来より西国三十三所観音霊場の一つとして巡礼がさかんで、多くの信仰を集めています。境内には、国宝の唐門をはじめとして観音堂・渡廊(低屋根・高屋根)の重要文化財建造物が建ち並んでいます。

今回紹介する渡廊は、観音堂東側面の後端の間から国宝の都久夫須麻神社本殿西側面をつなぐ廊下で、通称舟廊下と呼ばれています。屋根は切妻造、椽皮葺(※1)、規模は梁間1間(約2.7m)、桁行10間(約25m)で、棟の高さは観音堂側の桁行8間(約20.1m)が低く、神社本殿側の桁行2間(約4.9m)が高くなっています。飾金具に「豊国大明神御唐門下長押之間金具」との銘があり、唐門とともに慶長8年(1603)に豊国廟から移築されたと考えられています。床下はがけ地に建つことから、「清水の舞台」で有名な京都の清水寺本堂と同様、がけ地の形状に合わせた様々な長さの柱が立つ懸造と呼ばれる形式になっています。



▶宝蔵寺渡廊(床下)

建物内部は、各柱間に連子窓(※2)を設け、天井を設けずに屋根の傾斜がそのまま見える構造となっています。柱上には組物(※3)を組んで桁を受け、梁(※4)と呼ばれる梁を掛けて棟木を支えています。また垂木の外側部分は、黒漆が塗られ、さらに先端は金鍍金の金具で飾られています。

唐門や観音堂に比べて落ち着いた雰囲気ですが、連子窓から射し込む光によって床面に

に映し出されるリズムカルな連子の影は、季節や時間の変化とともに内部空間に様々な表情を与えています。

- ※1 椽皮葺：椽の皮を少しずつずらして重ねて葺く屋根材料。
- ※2 連子窓：細い角材を縦または横に並べた窓。
- ※3 組物：軒を支える部材。
- ※4 虹梁：上面の両端を円弧状に仕上げた梁。



▶宝蔵寺渡廊(内部)

問 文化財保護センター
 (☎64-0395)

割引きについて



長浜市国際交流員
 ソランジェ

皆さんこんにちは！

買い物やサービスを利用するとき、「割引き」という言葉を見聞きすることが多いですが、ブラジルにも日本と同様、さまざまな「割引き」があります。

特に国のため、また子孫のために一生懸命働いてきた高齢の人たちには、恩返しの気持ちを込めてたくさんの割引きが設けられており、無料のサービスもあります。たとえば、ブラジルのどこへ行っても路線バス、地下鉄、電車などは無料となっており、高速バスには高齢者のための無料席が必ず2席用意されています。

また、住んでいる市や条件によって異なりますが、固定資産税が無料となる場合もあります。

日本の映画館にはレディースデーやメンズデーなど

があり、もちろんシニアの割引料金もありますが、ブラジルでは毎週水曜日、誰もが半額で映画を見ることができます。

他にも、サンパウロ市では失業者に対して「地下鉄乗り放題きっぷ」を提供しています。この支給を受けるには一定の条件がありますが、失業者が新しい仕事に就くのを応援する意味合いがあるようです。新しい仕事を始めた場合は、必ずそのきっぷを地下鉄会社に返さなければなりません。

☆ワンポイントポルトガル語講座☆
 Metade do preço → 半額



◀ブラジル政府の健康推進プログラムの1つとして、在宅医療を無料で受けることができます。

問 市民協働推進課 (☎65-8711)